

令和4年9月16日

県農協中央会	御中
全農富山県本部	御中
県農業共済組合	御中
各農林振興センター	御中
農林水産総合技術センター	御中

富山県農林水産部

台風第14号の接近に伴う農作物等の管理の徹底について

気象庁の台風第14号の進路予想によると、今後日本列島に沿って北上し、20日頃には北陸地方に接近すると予報されており、進路によっては強風や大雨等による農作物等への被害が懸念されます。

このため、今後の気象情報等に十分注意の上、次の管理対策が徹底されるよう指導願います。

【強風対策】

1 大豆

強風により莢等が著しく損傷した場合は、腐敗粒の発生を防ぐため殺菌剤の散布を行う。

2 園芸作物

- (1) 収穫期を迎えている果実は、熟度に留意し、速やかに収穫を行う。
- (2) 防風網、果樹棚、支柱、フラワーネット及びマルチフィルム等の点検・補強を行う。
- (3) 白ねぎは、葉鞘が伸びている場合、倒伏を防ぐため涼しい時間帯に土寄せを行う。土寄せ後は必ず軟腐病等の防除を行う。
- (4) ももでは、せん孔細菌病のまん延を防ぐため事前にICボルドー412(30倍)を散布する。
- (5) 切り花では、倒伏が発生した場合、早急に立て直し殺菌剤を散布する。
- (6) その他の作物が損傷した場合には、速やかに殺菌剤の散布や保護殺菌剤の塗布を行う。

3 農業施設

- (1) ハウス・畜舎等の点検・補強を行う。
- (2) 強風時の飛来物による損傷を防ぐため、施設周辺の片付けや清掃を行い資材等の飛散防止に努める。
- (3) 燃料タンクやガスボンベ等がしっかりと固定されているか点検する。

4 農作業安全

農作業に当たっては、気象情報を十分確認し、身の安全確保を最優先に行動する。

【大雨対策】

1 水稲

降雨後は、速やかに収穫作業ができるよう、ほ場の排水に努める。

2 大豆

雨水が停滞しないよう、排水溝の点検と手直しを行う。

3 園芸作物

- (1) 露地栽培では、ほ場内に雨水が停滞しないよう、排水溝の手直し等、排水対策を徹底する。
- (2) 病害の発生を防ぐため、晴れ間をみて防除を実施する。

4 飼料作物

- (1) 飼料用稲は、ほ場の排水状況や地耐力を確認した上、適期に収穫する。
- (2) 飼料作物は、雨水が停滞しないよう、排水溝の点検と手直しを行う。

5 大麦・チューリップ等

今後作付けを予定しているほ場では、額縁排水溝を設置するなど排水に努める。

6 農作業安全

農作業に当たっては、気象情報を十分に確認した上、転落防止など安全確保に努めるとともに、大雨により土砂災害、河川の増水が懸念される場合は、ほ場や用排水路の見回りを控える。

【高温対策】

1 水稲

- (1) すでに収穫期を迎えているほ場では、晴れ間を最大限活用して速やかな刈取りに努める。
- (2) 急激な乾燥による胴割米の発生を防止するため、高温時の乾燥作業では常温通風とする等、送風温度を低く設定する。

2 野菜

- (1) 施設栽培では、異常高温にならないよう遮光や換気、こまめなかん水を徹底する。
- (2) 白ねぎでは、高温時の土寄せや追肥は行わない。
- (3) キャベツでは、カルシウム欠乏症の発生を防ぐため、土壌が乾燥している場合はうね間かん水を行うとともに、水溶性カルシウム剤（カルプラス500倍液等）を葉面散布する。
- (4) ヤガ類やアザミウマ類、ハダニ類等の発生がみられた場合は、速やかに防除を行う。

3 果樹

- (1) ハダニ類の発生がみられた場合は、速やかに防除を行う。

4 花き

- (1) 切り花の収穫は涼しい時間帯に行うとともに、前処理剤を用いて十分に水揚げを行い、鮮度保持に努める。
- (2) 球根類は、貯蔵庫内が高温になり過ぎないように風通しをよくするとともに、腐敗球等の除去を徹底する。
- (3) 施設栽培では、異常高温にならないよう遮光や換気、こまめなかん水を徹底する。
- (4) ヤガ類やアザミウマ類、ハダニ類等の発生がみられた場合は、速やかに防除を行う。

5 家畜

- (1) 畜舎内の温度を下げるため、送風機・換気扇を活用する。
- (2) 給水器を清潔に保ち、新鮮な水（冷水）を十分に給与する。
- (3) 家畜をよく観察し、異常畜の早期発見・早期治療に努める。

6 農作業安全

農作業に当たっては、こまめに水分補給をするなど、熱中症等に十分に留意する。

【農産食品課】

農産食糧係 (076) 444-3283

園芸振興係 (076) 444-3284

【農業技術課】

研究普及・スマート農業振興班 (076) 444-3277

広域普及指導センター (076) 429-5042

